

そっとおとどけ2019年6月号 Vol.181

<図書館イベント>

月	日時		内容	会場
	日	時		
6月	1 (土)	14時30分～	おはなし会 (赤ずきん)	○
	8 (土)	14時～	おはなし会 (やまびこ会)	○
	11 (火)	11時～	乳幼児向けおはなし会 (麦のこ)	○
	15 (土)	14時～	ブラックパネルシアター (なのはな教室)	★
	22 (土)	14時～	おはなし会 (ごくらくとんぼ)	○
	23 (日)	10時～14時	おもちゃ病院 (おもちゃの修理) ※受付13時まで	◆
11時～		おはなし会 (図書館職員)	○	
7月	6 (土)	14時～	映画上映「六月燈の三姉妹」104分 (土曜シアター)	★
	9 (火)	11時～	乳幼児向けおはなし会 (麦のこ)	○
	13 (土)	14時30分～	認知症カフェ図書館 介護予防のはなしとMIC検査	●
			おはなし会 (赤ずきん)	○
	21 (日)	10時～14時	おもちゃ病院 (おもちゃの修理) ※受付13時まで	◆
		14時～	おはなし会 (れろの会)	○
	22 (月)	10時～	夏のわくわく♪としょかん教室 (申込み者のみ)	
27 (土)	11時～	小学生向けおはなし会 (まほうの箱)	○	
28 (日)	11時～	おはなし会 (図書館職員)	○	

○ 図書館おはなしコーナー ● ユメニティ会議室 3 ★ ユメニティ小ホール ◆ ユメニティ小ホール2階ロビー

図書館カレンダー

【6月】

日	月	火	水	木	金	土
						①
2	3	4	5	6	7	⑧
9	10	⑪	12	13	14	⑮
16	17	18	19	20	21	⑳
⑳	24	25	26	27	28	29
30						

【7月】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	⑥
7	8	⑨	10	11	12	⑬
14	15	16	17	18	19	20
⑳	㉒	23	24	25	26	㉓
㉔	29	30	31			

■ はお休み、太字 は17時閉館、○は行事がある日です。

※2階学習室 利用開始※

持ち込み学習ができるスペースが図書館2階にできました。中高生の皆さんに向けた、図書館職員おすすめの本も展示しています。

席数:27 申し込み不要

利用時間: 火～土 10:00～18:45

日・祝日 10:00～16:45

※新聞が2階学習室に移動します※

ご不便をかけますが、ソファでくつろぎながら、ゆったりとお読みください。

ブックリサイクル本寄贈のお願い

11月に開催するブックリサイクルに出す本を集めています。

寄贈本受付:6/1(土)～9/29(日) 10:30～17:00

※全集・百科事典は受付できません。マンガは全巻セットのみ受付。

※図書館カウンターへお持ちください。

展示

一般「健康でいるために！」5/30(木)～7/30(火)

児童「雨がふると・・・?!」5/30(木)～6/25(火)

直方市立図書館 0949-25-2240

開館時間: 火～土 10:00～19:00

日・祝 10:00～17:00

図書館HP

Facebook



6月のテーマ

浪漫

()は司書のペンネームです。

「あなたに贈る花ことば」
若菜晃子著 627ウ

花ことばには、人と花との長い歴史が反映されています。牡丹や芍薬は、古くから薬草として使われ、のぼらと萩は「万葉集」でも詠まれています。色とりどりの写真とともに、古代ロマンを感じながら、お気に入りの花ことばを探ることができる1冊です。
(K)

「話虫干」
小路幸也著 Fシ

図書館の仕事は意外にも多岐にわたっている。この馬場横町市立図書館の伝統的な仕事はなんと物語の中に入り、何者かによって作り替えられた話を元に戻すこと。
あまりに登場人物が増えすぎてしまった夏目漱石の『こゝろ』を元に戻すべく、図書館員たちが奮闘する。浪漫あふれる物語。
(ペコ)

「全国古代遺跡古墳鑑賞ガイド」
古代ロマンの世界へご招待」
小学館編 210.2シ

日本各地の縄文・弥生・古墳時代の遺跡について、鑑賞ポイントをわかりやすく解説する本です。
素朴で美しい縄文土器や土偶。色鮮やかで神秘的な装飾古墳。写真を眺めるだけでも楽しく、古代ロマンが感じられます。
直方に近いところでは、「装飾古墳の王者」と呼ばれる桂川町の王塚古墳、壁画が美術史的にも高く評価される宮若市の竹原古墳などが紹介されています。
(tm)

「ぼくのたび」
みやこしあきこ 作 E913ミ

ホテルで働く小さな町しか知らない「ぼく」。ぼくはお客さんから知らない国の話を聞いて、いつかたくさんの旅をしたいとロマンを抱く。ホテルの仕事を終えてベットに入り静かに目を閉じると、夢の中のぼくは大きなカバンを持って旅に出る。
たぐさんの国を旅することを夢見る「ぼく」の一日をリグラフで描かれた黒が印象的な絵本になっています。
(YY)

「小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅」
佐藤真澄著 Y538サ

2003年5月9日、人類の大きな夢とロマンを乗せて宇宙へと飛び立った「はやぶさ」
そして2010年6月13日、度重なるトラブルを乗り越え帰還した「はやぶさ」
“彼”の宇宙旅行は7年にもおよび、総航行距離は約60億kmと長く孤独なものでしたが、抱えきれないほどの愛と期待に包まれていました…
多くの人々が手に汗握り、涙した感動の実話です。
(ロア)

「やさいの花」
埴沙萌 写真 嶋田泰子文 K626ハ

ある画家が花の絵を描きたくなくて種子を植えたという話を聞いたことがあります。半年ほど経って、その画家は自分で育てた花の絵を描いたそうです。何の花だったのかは知りませんが、それが、やさいの花だったらもう一段素敵だなと思うことがあります。
やさいも植物なのでもちろん花が咲きます。その花を見ることが少ないのは花が咲く前に食べられてしまうからです。
美しく可憐なその姿は、哀しい浪漫を感じさせます。
(キャラメル)